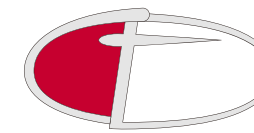




CHIBA UNIVERSITY REPOSITORY  
for Access to Outcomes from Research



千葉大学附属図書館

<http://mitizane.LL.chiba-u.jp/curator/>

学内との連携協力により  
収集しているもの

CURATOR が支える 教育研究基盤  
< 多彩なコンテンツ 11,193 件 > (2006.7.2)

すでに恒常的に収集して  
いるもの

研究データ、教育成果の公開

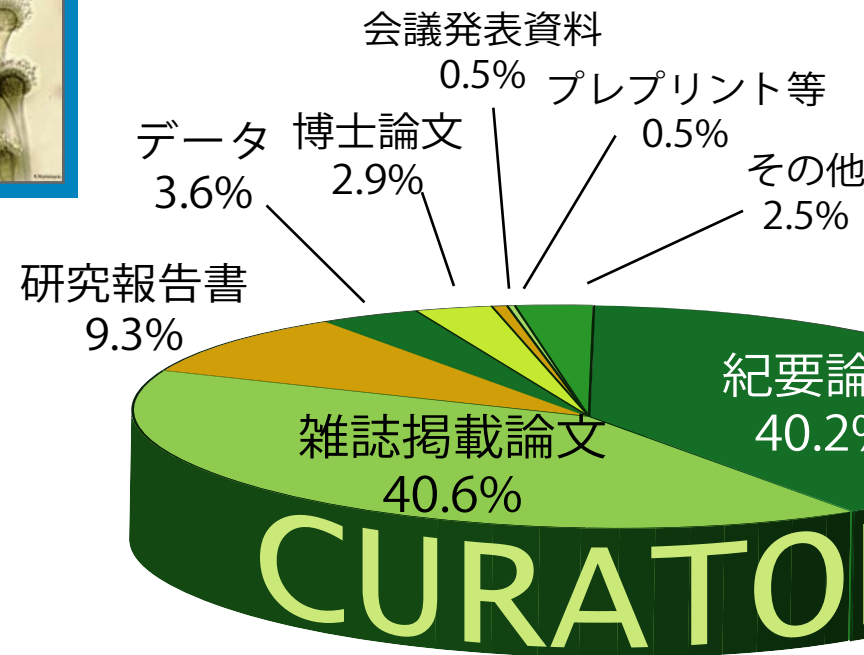
サイエンスデータ

真菌・放線菌データ



デザイン画像

・卒業生によるインダストリアル  
デザイン画像



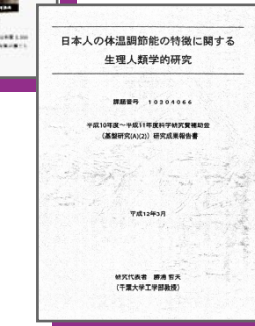
学内紀要・出版物

・オーバーレイ・ジャーナルは出版のたびに  
セルフアーカイブで



博士論文 (薬、人社研)

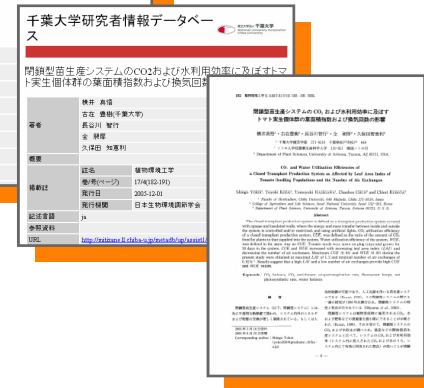
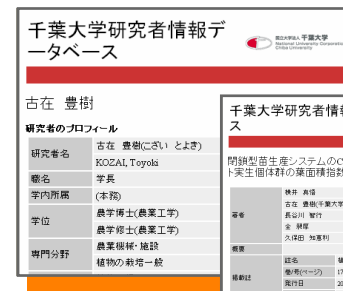
- ・遡及完了、新規論文提出時に CURATOR へも登録
- ・その他研究科も遡及と新規ルート確立へ



科研費報告書

- ・一部遡及済。新規提出分は  
冊子寄贈と同時に登録予定

植物標本データの公開  
(2007 年度公開予定)



学生支援資料 =  
パスファインダーの登録、  
パスファインダー資料へのリンク

- ・図書館と教員が作成する  
授業用資料案内 = パスファインダーを  
CURATOR でさらに有効活用

衛星画像

・画像サムネイルを  
メタデータに搭載  
CURATOR と連携予定



学術論文 = 研究者情報公開 DB とのリンク

- ・一部リンク済
- ・学術論文への効果的なリンクを検討

今後特に力を入れて収集、及び  
システムを構築していくもの

2002 年に開発に着手した CURATOR は、2005 年に正式運用、セルフ・アーカイブによるコンテンツ登録を開始。その後、科研費報告、博士論文等をかき集め、2006 年には NII 紀要電子化支援により学内出版物の遡及分の多くを登録。その間、サイエンスデータなど論文以外のコンテンツの公開も実現。今後も教育研究成果を社会に公開することで大学としての説明責任を果たし、教育研究の基盤となるコンテンツの構築を目指す。